

一般質問 議:議員/理:理事者

- まちづくりについて
- 教育会館と中央公園改修による「多世代交流拠点づくり」について

その他の質問

・「滞在型観光」への戦略について



松山信裕 議員



議 第6次勝山市総合計画の改定と、第3期勝山市地方創生総合戦略の策定はどのように考えているのか。

理 10年後のまちの将来像を定めた第6次勝山市総合計画の基本構想や政策目標は、策定から5年が経過した現在も本市の政策や予算の基本となっていて、改定の予定はない。

一方、現在の第2期勝山市地方創生総合戦略は本年度が最終年度のため、近年の社会経済状況の変化に対応した第3期総合戦略を策定する。

議 今回の改修では、公園再配置や新施設整備に伴う既存樹木の保存本数、伐採予定をどのように考えているのか。また、教育会館庭園は、多田清氏の寄附をもとに、著名な庭園作家である中根金作氏が作庭したものである。この庭園を残すことはできないのか。

理 中央公園の塀や樹木を撤去し、開放的な空間とする方針を示していたが、樹木を残してほしいとの意見を受けて再検討し、6月4日開催のワークショップでは市民の思い出の樹木等6本と桜並木を残す案を説明し、意見を伺った。その結果、開放感や倒木リスクを理由に伐採を求める声が多く、基本方針どおりとしつつも、樹木の健全性等を考慮して群での保存も検討する。

教育会館庭園は、中根金作氏が作庭した歴史・文化的価値が高いものだが、池の機能消失や植栽の傷みが課題となっている。よって、人工芝を敷設した多世代交流空間への転換を考えているが、

賛否の意見を踏まえ、詳細設計で慎重に検討する。



教育会館庭園

一般質問 議:議員/理:理事者

- まちなかの緑について—街路樹の剪定と環境整備—
- 農業の担い手について

その他の質問

・医療・介護の人材確保について
・自伐型林業者への支援の見直しについて
・中央公園の樹木伐採について



李江嵐 議員



議 「大地の再生」の矢野智徳氏や、「土中環境」で知られる高田宏臣氏は、樹木の衰退・倒木の根本原因を土中環境の悪化と捉え、土中の水と空気の流れを回復させる「通気浸透水脈」の手法を実践し、普及に取り組んでいる。土中環境から街の環境を守り育てるという視点を取り入れた管理・整備の在り方を、市として今後検討していただけないか。

理 国は令和8年3月に「都市公園の樹木の点検・診断に関する指針（案）」を改訂し、全国で発生している都市公園等の倒木事故を踏まえた点検内容や事例などを示している。市ではこの指針を参考にしながら、日常点検や街路樹剪定の機会を活用して、街路樹の健全度の確認に努める。土中環境については、今後新たに植樹を行う際に考慮したい。

議 農業の担い手不足は全国的に深刻な課題である。農林水産省のデータによれば、基幹的農業従事者の平均年齢は年々上昇し、高齢化と後継者不足が加速している。担い手不足の深刻化を肌で感じている。農業分野への地域おこし協力隊の活用について、市として取組を伺う。

理 地域農業を牽引する認定農業者連絡協議会等に、地域おこし協力隊の受入れについて提案・意見交換を行った際、単一の営農組織で隊員受入れ・育成は負担が大きいが、営農組織が複数連携して支援することで可能ではないかとの意見があった。現場の声を踏まえ、市では農業分野における地域おこし協力隊の活用を新たな担い手確保の手段の1つとして位置づけ、現在、募集に向けた準備を進めている。